

第30回 先端医療センター Monthly Lecture

多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形でつくりだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的に開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。

学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会には豊富にありますが、優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を取って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいただきます。

先端医療センター長 鍋島 陽一

日時・場所

2014年10月10日（金）17:00～19:00

神戸臨床研究情報センター（TRI）第1研修室 ※参加費無料



■ 講師 濡木 理 先生

東京大学大学院
理学系研究科生物化学専攻 教授

■ 演 題 細胞膜を介した物質輸送の分子機構の構造基盤

■ 講演内容

細胞膜に埋め込まれた膜輸送体タンパク質は、細胞内外のイオン、糖、代謝産物、異物（薬物など）の輸送を的確に行うことで、この細胞内環境を維持しているナノマシンである。ヒトの遺伝子の30%以上が膜蛋白質をコードしており、創薬ターゲットの50%以上が膜蛋白質であることから、膜蛋白質研究は生命原理の探求のみならず、医薬学への応用にも極めて重要である。我々は、一貫して高等真核細胞の脳神経、循環器、腎臓、消化器などの細胞機能に重要な膜輸送体に焦点を当てて、これらの輸送体の基質識別機構、輸送駆動機構、輸送制御機構を明らかにしてきた。本講演では、光駆動型陽イオンチャネルであるチャンネルロドプシン、多剤排出輸送体 MATE と言ったチャンネル、トランスポーターの動的な分子機構を原子分解能レベルでご紹介したい。

■ お申込み

- ◎参加を希望される方は、事前にEメール (monthly-sanka@fbri.org) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。
- ◎当日参加の方も歓迎です。
- ◎事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

■ お問合せ Mail:monthly-sanka@fbri.org TEL:078-306-0708